

## 事務事業評価シート(平成24年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
31422	上下水道台帳整備事業	建設水道課	水道工務係	一ノ瀬 保弘	唐澤 武志	
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 14 日	連絡先〔内線〕	2167	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	9101	原水及び浄水費	
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	5702	公共下水道事業	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)		3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり
		節	(コード選択)		1節	地域基盤整備
		項〔基本施策〕	(コード選択)		4項	上水道事業の推進
目〔主な施策〕		(コード選択)		2目	施設等の計画的な維持・更新	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) H1 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
上水道、小野簡易水道の利用者及び公共下水道、特定環境保全公共下水道利用者ならびにそれら情報を必要な人
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
町内に布設されている水道管、下水道管路、口径などの必要な情報を台帳整備(地図化、デジタル化)して速やかに情報を提供できるようにする
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 町内に布設されている水道管路の台帳整備を行い、管路台帳として必要な住民に情報提供可能にする
2 下水道管路の台帳整備を行い、管路台帳として必要な住民に情報提供可能にする
3 上下水道台帳を、データベース化、デジタル化し、迅速に正しい情報を提供できる体制にするとともに、維持管理に有効活用する
4

### (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)
① 指標名	辰野町上水道、小野簡易水道の台帳整備単年度延長	km	48	0	50	0.00	50
	説明	単年度台帳整備延長	目標値設定の根拠 上水道、小野簡易水道の資産台帳の管路延長より				
② 指標名	下水道(公共、特環)台帳整備済管路延長	km	0	37	10	3.70	10
	説明	単年度台帳整備延長	目標値設定の根拠 台帳デジタル化を進めるため、単年の整備目標を設定				

### (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)
① 指標名	辰野町上水道、小野簡易水道の管路台帳整備率	%	58	58	70	0.83	70
	説明	台帳整備済延長/水道資産台帳管路延長	目標値設定の根拠 水道本管延長に対する台帳整備済の割合				
② 指標名	下水道整備済管路台帳整備率	%	100	100	100	1.00	100
	説明	台帳整備済延長/下水道整備済管路延長	目標値設定の根拠 整備済管路延長に対する台帳整備済延長の割合				

### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 見込み															
		対前年比	%	/	432.3	170.3	184.9													
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	2,686	11,608	19,765	36,544															
B) 一般財源(税金)	(千円)	0	0	0	0															
①事業費	(千円)	1,795	10,542	18,354	34,900															
対前年比	%	/	587.3	174.1	190.1															
②人件費の概算	(千円)	891	1,066	1,411	1,644															
対前年比	%	/	119.8	132.3	116.5															
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費										
		H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25										
町職員(正規職員)	(千円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.02	0.16	0.21	0.25	0.17	0.23	0.27	891	1,066	1,411	1,644
臨時職員	(千円)	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある      B 変化していない C 減少傾向にある      D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある      B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる      D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している      A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある      資産台帳整備 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している      A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している      給水装置工事審査時に管路の情報不足の場合がある C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)
H23から上下水道ともに、固定資産台帳整備と連携し、デジタル化・データベース化によるシステム構築を開始した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
上水道管路台帳はH25まで、下水道管路台帳はH26までに、デジタル化、データベース化を図る。また、順次台帳未整備部分の解消を図る	[反映内容] 固定資産台帳整備、下水道管路などデータベース化

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
震災対策、住民サービスの面から重要な事業であり、早期にシステム化を図る。上水道台帳未整備部分についても、まず管路網として利用できるよう対策を検討する。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止

上記 a~e を選択